



③慎重に作業が進められ大型トレーラーの荷台に。移動は夜。しばらくの間、デゴイチはお休み。



②ついにこの時が来た。現場に居合わせた方々も、宙に浮くデゴイチを記録しようとカメラを手にしていた。



⑦大きなクレーンで吊り上げて、最後は人の目と感覚で作業が進む。寸分の狂いもなく移設が完了となった。



⑥デゴイチが吐き出した煙のような雲が舞う空の下で、再び宙に浮いた。敷設されたレールに運ばれる。



③手前の1台は道の駅。奥のもう1台はもともと資料館のあった場所へ運ばれ保存される。どちらも貴重な車両だ。



②道の駅ではデゴイチが待っている。遅れはしまいと、道の駅に向かう準備が慎重に進められて行く。



⑦無事移設の完了。機関庫に眠るデゴイチが出てくれば、ようやく2台の車両が並ぶ。



⑥夜が開け作業が進められる。「無事に作業が進んで欲しい」現場はきっと、そんな思いでいっぱいだったと思う。